

平成27年(2015年)年間概況

平成27年 年間入域観光客数(推計)
1,115,051人
 対前年比 99.41% 1,121,622人

平成27年 年間観光消費額(推計)
643.3億円
 対前年比 98.05% 656.1億円

国籍別入域観光客数(年間総計)

日本	920,995人	
前年同月	対前年同月比	
954,515人	96.5%	
外国	194,056人	
前年同月	対前年同月比	
167,107	116.13%	
国籍	入域観光客数	前年同月比
台湾	109,981	121.2%
香港	1,570	330.5%
上海	0	-
中国(上記以外)	309	1.8%
韓国	331	331.0%
アジア(上記以外)	1,948	4.2%
その他諸外国	79,917	620.5%

※外国人については、入国管理局の資料に基づく

※外国人については、入国管理局の資料に基づく

島別入域観光客数(年間総計)

石垣市		
島名	観光客数	対前年比
石垣島	1,106,320人	99.6%
竹富町		
島名	観光客数	対前年比
竹富島	511,413人	98.4%
西表	322,498人	102.8%
西部	65,454人	99.1%
小浜島	184,001人	100.7%
黒島	28,428人	93.4%
波照間島	30,365人	87.4%
鳩間島	6,076人	100.5%
新城島	3,175人	90.0%
加屋真島	2,182人	101.5%
計	1,153,592人	99.5%
与那国町		
島名	観光客数	対前年比
与那国島	37,849人	121.9%

年間入域観光客数・消費額推移

暦年	入域観光客数	観光消費額
平成元年(1989年)	301,592人	210億円
平成2年(1990年)	327,104人	229億円
平成3年(1991年)	401,376人	281億円
平成4年(1992年)	426,242人	298億円
平成5年(1993年)	425,925人	298億円
平成6年(1994年)	432,010人	346億円
平成7年(1995年)	442,140人	354億円
平成8年(1996年)	447,886人	448億円
平成9年(1997年)	524,824人	500億円
平成10年(1998年)	517,908人	515億円
平成11年(1999年)	602,027人	552億円
平成12年(2000年)	599,343人	508億円
平成13年(2001年)	578,978人	511億円
平成14年(2002年)	613,362人	440億円
平成15年(2003年)	695,681人	501億円
平成16年(2004年)	715,777人	499億円
平成17年(2005年)	751,182人	524億円
平成18年(2006年)	771,838人	549億円
平成19年(2007年)	787,502人	543億円
平成20年(2008年)	782,749人	529億円
平成21年(2009年)	732,594人	473億円
平成22年(2010年)	725,635人	457億円
平成23年(2011年)	660,510人	413億円
平成24年(2012年)	713,058人	443億円
平成25年(2013年)	942,964人	580億円
平成26年(2014年)	1,121,622人	656億円
平成27年(2015年)	1,115,051人	643億円

八重山入域観光客数統計概況(推計)

2015年入域観光客数 概況 平成30年2月5日修正

2015年の八重山入域観光客数は、対前年比0.6%減(6,571人減)の1,115,051人。観光消費額推計は、対前年比2.0%減(12.8億円減)の643.3億円。

- 【全体】
- 夏場の相次ぐ台風の襲来により、空路、海路とも欠航等で大きな影響があったものの、2年連続で110万人を越えた。
 - 国内路線の入域観光客数は前年を下回ったものの、海外路線はクルーズ船の寄港回数の増により大幅に増加した。
 - 3月、10月、11月、12月の各月とも、昨年を上回り過去最高を記録しており、オン・オフシーズンの差が縮まってきている。
- 【国内路線】906,627人 対前年比3.9%減(37,011人減)
- 県外直行便は、特に羽田-石垣路線で機材の大型化や増便等に伴い送客数が拡大したことにより、前年を大きく上回っており、県外と石垣直行便がますます強く太くなっている。
 - 一方で、那覇-石垣路線は大幅に減少している。LCCの運休や那覇での乗り継ぎから県外直行便への移行などが要因と考えられる。
- 【海外路線】208,424人 対前年比17.0%増(30,337人増)
- 空路では、中華航空による台北-石垣チャーター便が4月から10月まで週2便運行した。
 - クルーズ船の寄港が84回(昨年は73回)となり、年々増加傾向にあり、外国人観光客が大幅に増えた。また、例年より長い運航期間となっており、課題である冬場の観光客数の増加に寄与している。
- 【その他】
- 2016年は、クルーズ船に寄港回数が増えることや航空機材の大型化が予定されていることから、入域観光客数の増加が期待される。

路線別・3旬別入域観光客数推計

	平成26年		平成27年		比較(H27/H26)			
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	増減数	対前年比		
国内路線	空路	東京(羽田、成田)	176,434	15.7%	213,618	19.2%	37,184	121.1%
		大阪(関空)	116,022	10.3%	115,531	10.4%	△491	99.6%
		神戸	2,183	0.2%	0	0.0%	△2,183	0.0%
		名古屋(中部)	38,458	3.4%	35,299	3.2%	△3,160	91.8%
		福岡	14,839	1.3%	11,362	1.0%	△3,477	76.6%
		那覇	565,290	50.4%	500,708	44.9%	△64,581	88.6%
		宮古	27,571	2.5%	28,344	2.5%	773	102.8%
		チャーター便	592,861	52.9%	529,052	47.4%	△63,809	89.2%
		655	0.1%	1,765	0.2%	1,110	269.5%	
		941,453	83.9%	906,627	81.3%	△34,825	96.3%	
海路	クルーズ船	2,082	0.2%	0	0.0%	△2,082	0.0%	
	943,535	84.1%	906,627	81.3%	△36,907	96.1%		
海外路線	空路	チャーター便	9,050	0.8%	8,321	0.7%	△729	91.9%
	海路	クルーズ船	169,037	15.1%	200,103	17.9%	31,066	118.4%
		178,087	15.9%	208,424	18.7%	30,337	117.0%	
空路計(国内路線+海外路線)		950,503	84.7%	914,948	82.1%	△35,554	96.3%	
海路計(国内路線+海外路線)		171,119	15.3%	200,103	17.9%	28,984	116.9%	
月合計		1,121,622	100.0%	1,115,051	100.0%	△6,570	99.4%	

月別入域観光客数・消費額推移

	平成25年		平成26年		平成27年		比較(平成27年/平成26年)		
	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額	県全体観光客数
1月	44,214	30.9	56,676	41.0	57,450	41.4	101.4%	101.0%	107.1%
2月	50,560	36.3	69,666	48.9	69,233	49.8	99.4%	101.8%	109.5%
3月	77,866	55.3	87,520	63.9	95,987	63.6	109.7%	99.5%	104.6%
4月	85,333	51.0	109,604	60.7	107,731	59.9	98.3%	98.7%	112.3%
5月	71,396	38.1	104,621	51.1	91,083	48.3	87.1%	94.5%	108.9%
6月	77,609	43.4	103,689	54.5	101,308	52.0	97.7%	95.4%	109.5%
7月	102,408	59.1	116,564	66.0	107,347	60.9	92.1%	92.3%	109.2%
8月	114,684	67.0	131,471	71.6	106,993	60.1	81.4%	83.9%	108.8%
9月	105,388	60.2	119,957	61.1	106,809	58.3	89.0%	95.4%	110.0%
10月	83,648	51.2	91,262	49.5	107,646	56.6	118.0%	114.3%	118.9%
11月	67,085	45.7	68,646	46.4	89,597	49.8	130.5%	107.3%	109.8%
12月	62,773	41.9	61,946	41.4	73,867	42.6	119.2%	102.9%	111.7%
計	942,964	580.1	1,121,622	656.1	1,115,051	643.3	99.4%	98.0%	110.0%

